

## 批評

生徒氏名           ○○○○          

内容・課題名           臨床心理士資格試験コース 第1講 -1          

正答率  $5/13=38\%$ というのは、この分野の知識が足りないということです。脳の機能に関する知識です。もちろん脳の図と対応させ、各々の機能について知る必要があります。

臨床心理士試験は、正答率が  $60\%(2/3)$ から  $70\%$ ぐらい出来るようにする必要があります。そのために、少なくとも修士修了後の半年に相当の勉強をしている人が1次、2次を合格しているはずです。

この講座で送付する資料や、問題の正答を繰り返してみいくと、力が付きます。もちろん市販の教科書てきなものも読みます。深く調べるためには、培風館の心理臨床大事典(3万円)を座右に、項目をひいて読みます。

●添削結果をみながら、解答解説をみていただければよいと思います。

いただいた回答→添削 正答率  $5/13=38\%$

1. A    ×   b
2. C    ×   e
3. B    ×   d
4. A    ○
5. B    ○
6. C    ×   b
7. B    ×   d
8. A    ×   d
9. E    ○
10. B   ×   a
11. B   ×   d
12. B   ○
13. A   ○

以下は正答解説です。

●脳

(1) H6-17 正答：b

- a. 新しいことが覚えられない→大脳辺縁系、海馬の損傷による。
- b. 積極的な意欲や創造性→前頭連合野
- c. 食欲→視床下部
- d. 言語の理解→側頭葉左半球のウェルニッケル野
- e. 認知→頭頂葉

(2) H7-15 正答：e

- A. 前頭連合野は遅延反応に関連→○ ※遅延反応については別紙
- B. 右利きの人の言語野は左半球→○
- C. 新しい記憶を長期記憶にするのは海馬の働き→×
- D. 積極的な意欲や創造性は前頭連合野→×
- E. 小脳は不随意運動に関わる、本能の座は大脳辺縁系→×

(3) H10-9 正答：d

- A. 右利きでも左利きでも左半球。(2) B参照→○
- B. これは、海馬の働き。(2) C参照→×
- C. これは、前頭連合野の働き。(2) D参照→×
- D. 視覚情報はすべて後頭野の一番後ろの一次視野(右視野の情報→左の後頭野、左視野の情報→右後頭野)に入り、前側に情報が送られていく。→×

(4) H12-10 正答：a

- A. 視覚情報が到達するところは後頭野。(3) D参照→×
- B. 視覚情報は後頭野に到達。(3) D参照→×
- C. (2) C参照→○
- D. (2) D参照→○

(5) H14-7 正答: b

- A. →○
- B. 左の後頭野。(3) D参照→×
- C. (2) C参照→○
- D. 言語野は左半球→×

(6) H4-20 正答 b

幼児では速波でなく徐波の混入が多い(徐波については平成12年度問題11解説参照)。脳の表層の新皮質は生後発達してくるから、脳波のパターンも初めは低いサイクルの振幅の小さい波であるが、年齢が進むにつれてサイクルが増し振幅も大きくなって、15、6歳で大人の脳波のパターンになる。

(7) H5-21 正答 d

D…てんかん性脳波の特徴は、棘波(きょくは。持続時間が約80ミリ秒以内のスパイク様の単発の波形)がみられることである。徐波は、昏睡などの意識障害、精神遅滞児、統合失調症患者などにみられる。

(8) H10-2 正答 d

生物リズム(生体リズム *biorhythm*)…行動、体温、ホルモン分泌などの多くの生命活動がある周期で変動している現象。概日リズム(*circadian rhythm*)がよく知られているが、視交叉上核(\*1)にある体内時計(生物時計)が重要な役割を果たしている。

レスポナント時間条件付け…レスポナント条件付けにおいて、明確な条件刺激(CS)を与えないで、無条件刺激(US)のみを一定の時間間隔で与えると、ちょうどUSの出現時間の直前に条件反応が現れるようになる。これを時間条件反応とよび、この手続きを時間条件付けとよぶ。最終のUSからの経過時間の感覚が次のUSに対するCSの役割を果たしていると考えられている。人間の摂食行動においては、無条件刺激(US)が食物の摂取、条件反応が空腹感にあたる、と思います。

\*1 視交叉上核…左右の視神経が交叉するところの上部にある神経核で、生物時計機構の中核。この部分を破壊すると行動などのサーカディアンリズムが見られなくなる。

**(9) H11-16 正答 e**

A…安静状態で頻繁に出現するのは $\alpha$ 波。

D…アドレナリンは、副腎髄質から分泌される。

**【副腎髄質ホルモン】**

①アドレナリン…エピネフリンともよばれる。緊張や興奮を引き起こす刺激により分泌され、交感神経と同様に、血管の収縮、心拍数の増加、心収縮力の増大、血圧上昇、瞳孔散大、気管支平滑筋の弛緩を起し、肝におけるブドウ糖新生を促進するなどの作用をもつ。交感神経と比べると、作用発現までに時間がかかり、持続時間も長いのが特徴である。

②ドーパミン…カテコールアミン系の神経伝達で、ノルアドレナリンとアドレナリンの前駆物質である。末梢神経においては心臓収縮強化による血圧上昇と腎血流増加の作用をもつ。脳の報酬系、情動、覚醒レベルなどの精神活動に関わっており、ドーパミンの代謝異常が統合失調症の一因となっているとする仮説も提唱されている。

③ノルアドレナリン…ノルエピネフリンともよばれる。哺乳類の交感神経の末端から分泌される物質で、化学的にはアミンの一種。交感神経の支配を受けている細胞に神経刺激を伝達する働きをもつ、代表的な神経伝達物質。

**【副腎皮質ホルモン】**

①コルチゾール、コルチコステロン…糖代謝に関係

②アルドステロン…電解質代謝に関係

③デヒドロエピアンドロステロン（男性ホルモン）…男性ホルモンとしての活性は弱く抗ストレス作用や抗老化作用が示されている

(10) H12-11 正答…a

徐波…脳波の中の $\alpha$ 波よりも周波数の低い波(7Hz以下)の総称で、 $\theta$ 波と $\delta$ 波を含めたもの。両者とも覚醒状態の正常成人には出現せず、睡眠中や小児で出現する。 $\delta$ 波が中心となる睡眠の段階3と4を合わせたものを徐波睡眠(NREM睡眠)という。

(11) H13-10 正答…d

(12) H15-15 正答…b

A…○  $\alpha$ 波のことです

B…× 睡眠が深いときには高振幅の $\delta$ 波が出現。 $\delta$ 波は周波数が小さく、4Hz未満。

C…○ 脳事象関連電位は、ある刺激に対して被検者に課せられた種々心理的作業の負荷によって引き起こされる。

D…× 温熱性発汗…手背の発汗  
精神性発汗…手掌の発汗

(13) H16-6 正答…a